



モザンビークに対するJICAの取り組み

2009年 10月21日

アフリカ部長 押山 和範

Japan International Cooperation Agency



モザンビーク国概要

- 人口:2,140万人 (2007年 国連)
- 面積:79.9万平方キロメートル
- 一人当たりGNI: 370ドル(2008年 世銀)
- 経済成長率(実質):6.5%(2008年 世銀)
- 人間開発指数:172位/182ヶ国中(2007年 HDR)
- 主要産業:アルミ、天然ガス、農業



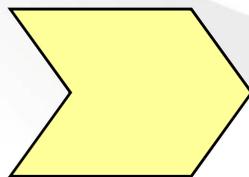
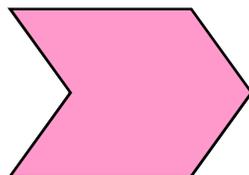
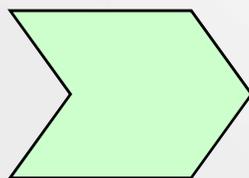
支援方針

【援助重点分野】

地方開発・
経済振興

人的資源開発

ガバナンス



【開発課題】

農村開発

産業の活性化

貧困層の基礎生活状況の改善

行政能力向上・制度整備



モザンビークへの支援実績

(単位:億円)

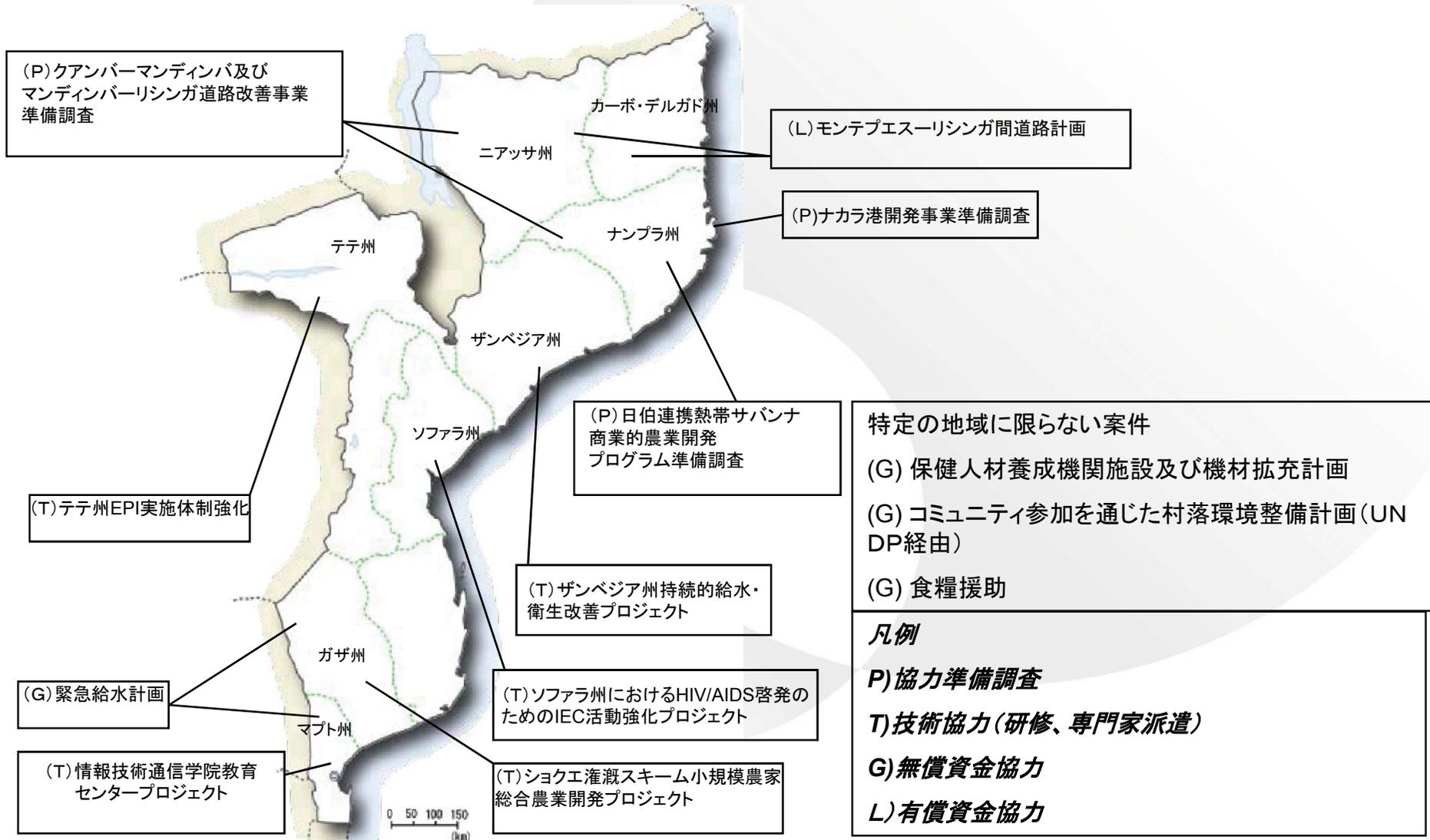
年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2003	-	21.55	3.34
2004	-	21.78	4.23
2005	-	18.16	4.85
2006	32.82	19.64	8.77
2007	-	16.38	8.60
2008	-	37.14	8.37
累計	32.82	806.60	85.64

円借款・無償資金協力年度E/Nベース、技術協力年度経費ベース

出所：外務省ホームページ「政府開発援助（ODA）国別データブック」他



主な実施中・準備中プロジェクト一覧





日伯連携サバンナ農業開発支援

目的:

三角協力によりモザンビーク熱帯サバンナ地域において、環境保全に配慮した持続可能な農業開発モデルを構築し、市場を意識した競争力のある農業・農村・地域開発を図る。

意義・重要性:

- アフリカ熱帯サバンナ(ギニアサバンナ帯約7億ha)には、4億haに上る農業適地が存在
- アフリカ農業開発に関し世界が注目
- インフラ整備との相乗効果
- 技術協力と資金協力を組み合わせたプログラム



日伯連携サバンナ農業開発支援

本年9月より協力準備調査を実施し、モザンビーク及びブラジル・セラード地域の情報の収集・整理を行っている。

(セラード原風景 1980年代)



(セラード現況)



ナカラ回廊
周辺地域現況

